



探究ニュース Access No. 38

発行日 令和6年9月19日

目次

- I 49期 探究A成果発表会
- II 48期 ゼミ紹介<前編>
- III 夏休み活動報告、講演会のお知らせ

I 49期 探究A成果発表会

1年生はこの夏、それぞれの興味・関心から絞り込んだリサーチクエスチョンについて調査・検証を行い、論文の形式にまとめました。9/2に行われた探究A成果発表会では、クラスの垣根を越えて、研究テーマの近い人たち同士で集まって発表しました。お互いに研究の成果を発表し、質問やアドバイスをしあい、充実した発表会となりました。探究Aはこれで一区切りです。初めての探究活動を行って得た気づきを、これから始まる探究Bでの活動に大いに生かしてほしいと思います。



49期 探究Aテーマ部紹介

○哲学

・人の性格は、決断の傾向とどのようにかかわっているのだろうか

○社会科学

・青少年が重大犯罪を犯す心理に至るまでに幼少期から青年期にかけてどのような養育環境におかれていたのか

○自然科学

・子供が苦い薬を飲めるようになるには
・梅干しの抗菌作用がより働くのはどのようなときか

○工業

・木造建築は夏の暑さに対する住みやすさにどのような影響を与えるだろうか。

○産業

・野良猫が飼い猫として飼われ始めた後、身体や性格はどのように変わるのか

○芸術

・人が好きな音と嫌いな音の違いは何か

○言語

・世界で高い人気を誇る作品を生み出すには日本のゲームの脚本をどのように翻訳すればよいか

・なぜ日本人はひらがなで日本の言葉、カタカナで海外の言葉を表記するのか

○家政学

・生命保険に加入するベストタイミングはいつか

○スポーツ

・陸上競技において短距離と長距離では筋肉のつき方に違いが生じるのはなぜか

Ⅱ 48期 ゼミ紹介<前編>

2年生は、1学期に引き続きゼミ活動を行っていきます。大学生・大学院生のティーチングアシスタントと意見交流を行いながら、各自のリサーチクエストについての研究を進めています。

今回は、全20のゼミのうち、10のゼミに所属するメンバーからの ①ゼミ紹介 と ②自分のテーマ をご紹介します!

自然科学(AI、地球、乗物)

- ① 私たち「自然科学(AI、地球、乗物)」ゼミは21人で活動しています。名前の通りAI、地球、乗物といった幅広い分野の内容について探究しているゼミです。普段は個人で進めることが多いですが、論文を書くにあたって新たな視点を得るためにグループでの活動もしていこうと考えております。
- ② 自動車を使用するにあたっての、最も効率の良い燃料の利用方法はどのようなものか

自然科学(技術、工業、産業)

- ① 自然科学を中心として、それぞれが興味を持ったテーマに沿って探究しています。基本的には、個人での文献調査や実験が主になりますが、定期的に互いに調べた文献や実験の方法等を話し合っています。人数規模は比較的小さいですが、協力し合って取り組んでいます。
- ② 災害現場における軟水と硬水の効率的な使い分けについて

自然科学(数学)

- ① 数学ゼミでは、一人一人の研究について全員で意見を出し合っています。5人しか所属していませんが、数学の知識や考え方をもとに楽しく研究しています!
- ② 数学的な規則を用いて音を数字で表すことはできないか

心理(物、商品等からくる心理)

- ① 物・商品等からくる心理ゼミでは11人で活動しています。様々なテーマを持った人たちが集まっており、多角的な視点から自分たちのテーマについて考えています。グループワークを中心に話し合いながら、自分のテーマについて答えを出せるように協力しています!
- ② 流行メイクはどこから生まれているのか

芸術、美術

- ① こんにちは! 芸術ゼミです! 私たちはグループ活動を中心に探究をしています。これからも意見を出し合いながらより良い活動ができるように頑張ります!
- ② 音楽的なコンクールにおいて「評価される」とはなにか?

医療

- ① 医療ゼミは主に人の体などに関わることを調べています! 人数は20人ほどで個人作業を中心に研究しています!! どのテーマもとても興味深いです。
- ② 若者にとって健康な肌とは

スポーツ、体育

- ① 私たちはスポーツや身体能力をテーマに探究を行っています。似たテーマごとにグループを作り、グループの中で話し合いながら探究活動を進めていきます。話し合いではそれぞれの行う実験方法や結果について発表し、アドバイスをしあいながら個人の活動のレベルを高めていきます。
- ② スポーツにおけるもぐもぐタイムの効果とパフォーマンス向上に生かす方法とは?

現代文化(諸芸・娯楽・文学)

- ① 現代文化ゼミは16人という人数で探究活動を行っています。大まかなテーマがないことが特徴で、1人1人の探究の自由度が高いゼミになっています! 1つのゼミですが、16個の発見があるのでぜひお越しください!
- ② 方言は将来なくなっていくのだろうか

言語

- ① こんにちは!言語ゼミです! 他のゼミと比べて人数が少なめなので、お互いの探究内容を把握しやすく、持続した探究活動を行えます。和気藹々としている楽しいゼミです。よろしくお願いします!
- ② 言語の消滅は、言語の特異性に関係があるのではないか。

歴史

- ① 歴史ゼミは人数はとても少ないゼミですが元気に活動しています! 歴史となるとテーマの幅がとても広いので一人一人のテーマの理解がとても大事になってきます。みんなでテーマについて議論をしようので予備知識がとても大切です。主に研究手法は文献が多いのでテーマに沿った歴史の文献を探すのはとても大変ですがみんなで協力しながらより良い探究を作り上げようとしています!
- ② プロレタリア文学は社会にどのような影響をもたらすのか

次号では、後編として残りの10のゼミに所属するメンバーからの紹介です。お楽しみに!



Ⅲ 夏休み活動報告、講演会のお知らせ

7/22 東京証券取引所フィールドワーク



新紙幣発行で関心の高まる金融と貨幣の世界。今年は東京証券取引所の見学や株式投資体験、兜町や日本橋のフィールドワークに行ってきました!

8/3 夏のガサガサ

京都大学や全国の高校と連携した活動の一環として、毎年恒例の浅川生物調査を行いました。第2回では、浅川の本流を調査しました。



7/26 南町田まちづくりワークショップ 【東急株式会社】



- ・南町田グランベリーパークは、ただの都市開発だけではなく、地域交流の場や避難所としての役割を持ったり、雨水を川に流さずグランベリーパーク内でためておくことでそれを駅の設備や河川の氾濫防止に役立てたりと、南町田ファーストで建てられていたことが印象に残っています。
- ・ただ何かを作るだけでは既存の環境には馴染まないことに気付きました。
- ・地域の人々が安心して過ごせるように夜でも明るかったりペットを連れて中を歩けるといった工夫が印象的です。

高倉小学校 学習ボランティア



・子供達は教えてもらいたいというより、そばについて見てほしいという感覚なのだなと感じた。
 ・ただ「式や答えを教える」のではなく、考え方を伝えてもう一度自分で考えさせるように教えることを意識して話すことが大切だと感じた。

高倉小学校 「輪っか。食堂」ボランティア



子どもたちが「ありがとうございました。」や「ごちそうさまでした。」と元気に挨拶していて、心地よい空間だなと感じた。高倉小学校の卒業生である学生もお手伝いに来ていて、私自身も育った地域で何かボランティア活動したいと強く思った。
 子供食堂と聞くと母親のイメージが強く、今回も10人ほどのお母さんやお手伝いの女性で取組まれていた。けれど父親や男性の方もいたら、もっと賑やかになるのではないだろうかとも考えた。

8/19, 20 見えないものを見てみよう!
 最先端計測企業でサマーワークショップ2024
 【キーサイト・テクノロジー】



昨年に続き、技術開発のプロフェッショナルの方とともにAIや電波の計測、音の解析、プログラミングに挑戦。今年は他の高校とも合同開催となり、探究の輪も広がりました。

スマホを分解して、身近にある最新技術について教えていただいたり、実際にロボットカーを組み立て、それに使われているプログラミングの解説を試みたり、とさまざまなことが印象に残っています。私は今までAIというのを曖昧にしか捉えられていなかったけれど、具体例や簡潔な表現を用いて分かりやすい解説をして貰ったおかげで、メリットデメリット共に深く理解することができました。

日野第四中学校 学習ボランティア

・なんかあったら質問してねースタイルは中学生には言いづらかったかなと思いますが「いい感じー？」と声をかけると「ここがわからない」とか「うーん」とつまってる所を教えてくれたので一緒に考えてわかったときの「あー!」という納得感が嬉しかったです。
 ・今まで教えるとしたらこう教えたい、など色々なことを考えたことがあったけれど、実際教えるとふさわしい言葉が出てこなかった。後になって、こうすれば良かった、と感じ、自分の中学の先生もこんなことを考えていたのかと感慨深く感じた。より深く自分の将来について考えることが出来た。

第4回生物セミナー 9月21日(土) 14:00~ 生物室
 「文系と理系、どこが同じでどこが違うか？」
 講師 東京大学教授/理研チームリーダー 佐倉 統 先生

Coming soon!

毎回人気の生物セミナー第4回のお知らせです。2学期最初のセミナー講師をしてくださる佐倉先生は、専門は進化学を中心とする科学史で、サイエンスコミュニケーションに関する研究を行っています。AIなどについても多くの発言をされています。また、NHKの科学教育番組「サイエンスZERO」コメンテーターなど、様々なところで活躍なさっている先生です。

理系・文系に迷っていたり、どの方面に進みたいか決めかねている人や、AI、進化などに関心がある人には特にオススメです。気軽に申し込みましょう。申込フォームはteams HSCにあります。

